

2024年度 第1四半期 決算説明資料



2024年8月

東証スタンダード市場：3423

 株式会社 **エスイー**

1. 2024年度第1四半期 連結決算実績

2. セグメント別の状況

1. 2024年度第1四半期 連結決算実績

2. セグメント別の状況

サマリー

前年同期比～増収減益

建設用資機材の製造・販売事業が好調で売上高と売上総利益は増加するも、中期経営計画（以下：中計）関連施策の推進を中心とした人件費・経費の増加により、営業利益以下は大幅な減益

（百万円）

| | 2023年度 1Q | 2024年度 1Q | 前年同期比 | |
|---------------------------------|------------------|------------------|-----------------|---------|
| | | | 増減 | （増減率） |
| 売上高 | 5,603 | 5,651 | +47 | (+0.9%) |
| 売上総利益 (対売上高比) | 1,422 (25.4%) | 1,473 (26.1%) | +50 (+0.7%) | (+3.6%) |
| 営業利益 (対売上高比) | 112 (2.0%) | ▲19 (▲0.3%) | ▲131 (▲2.3%) | - |
| 経常利益 (対売上高比) | 96 (1.7%) | ▲15 (▲0.3%) | ▲112 (▲2.0%) | - |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 (対売上高比) | 42 (0.8%) | ▲33 (▲0.6%) | ▲75 (▲1.3%) | - |

・売上高・売上総利益

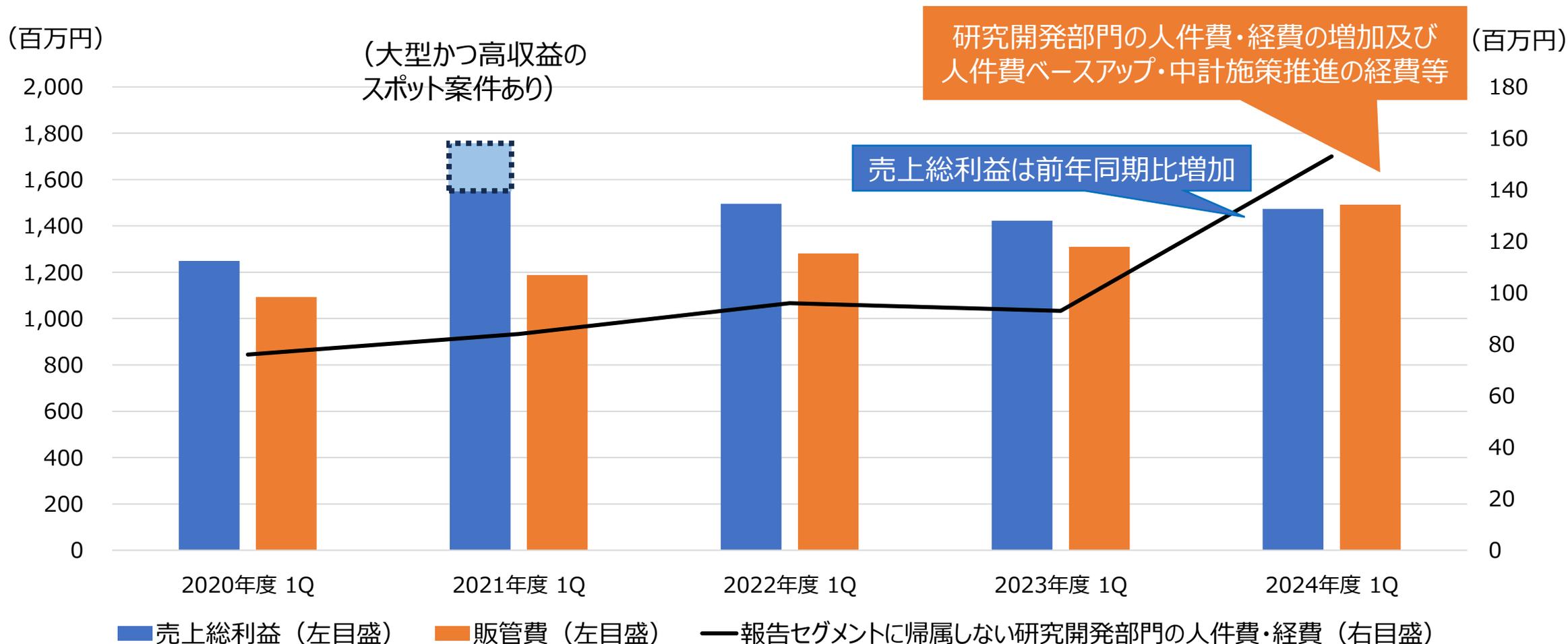
- 建設用資機材の製造・販売事業において、高速道路リニューアル関連の橋梁のケーブル製品納入や土木耐震金物の案件が好調に進捗
- 建築用資材の製造・販売事業の鉄骨工事及び建設コンサルタント事業では期初受注残の減少により減収、補修・補強工事業は増収なるも案件の利益率が低下
- 全体では売上高は前年同期比47百万円の増収、売上総利益は50百万円の増益

・営業利益・経常利益・純利益

- 研究開発強化をはじめとする中計の施策等を計画に沿って推進したことにより人件費・経費が増加し、売上総利益の増加を上回り、大幅な減益となり、営業損失を計上

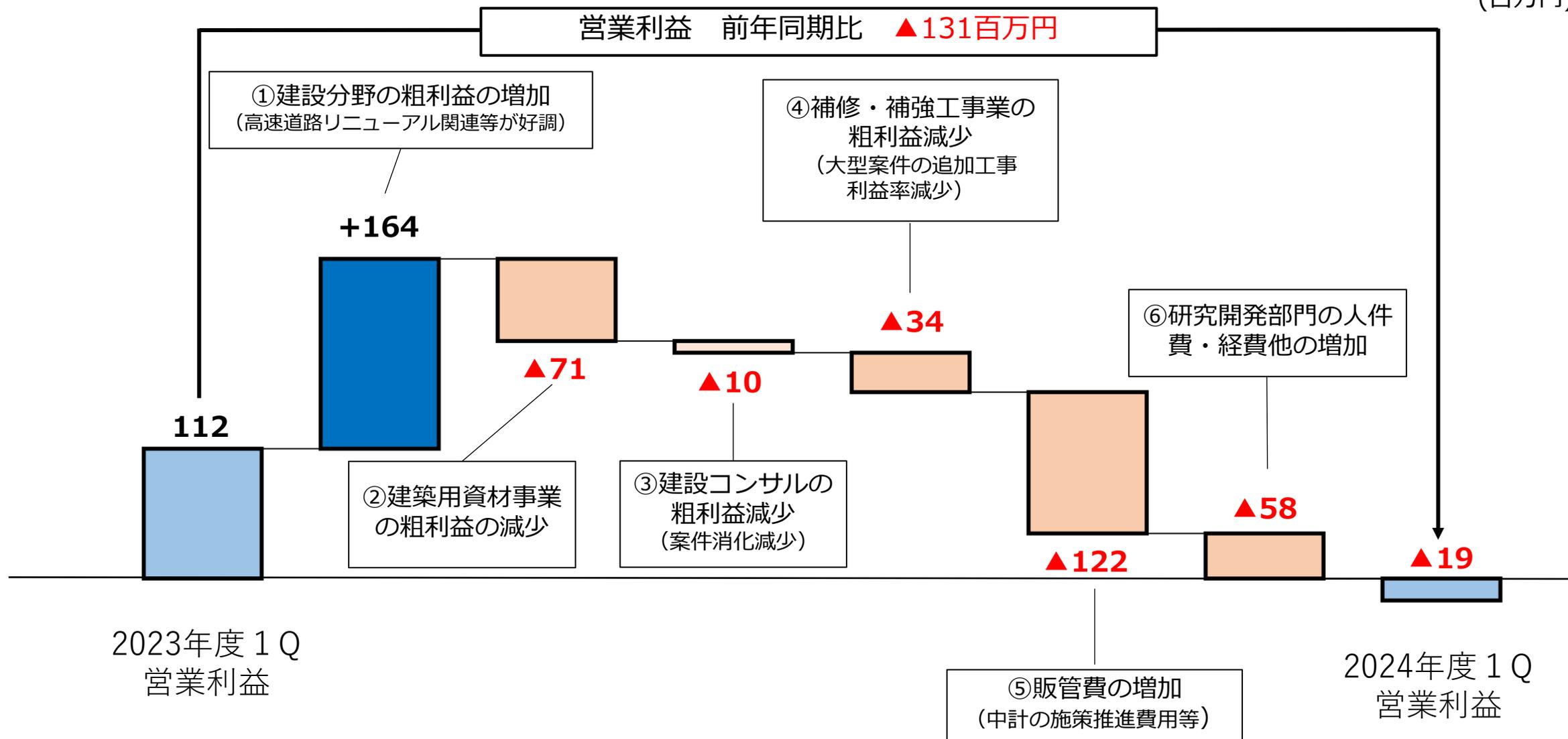
サマリー

営業利益はマイナスであったものの、売上総利益は前年同期比増加し戦略的資源投資は順調に進捗
2023年度まではコロナの影響もあり人員拡大及び研究開発に遅れが生じていたが、2024年度は戦略的資源投入（研究開発費＋人員）が進捗し経費が増加



第1四半期連結決算実績サマリー（営業利益増減）

(百万円)

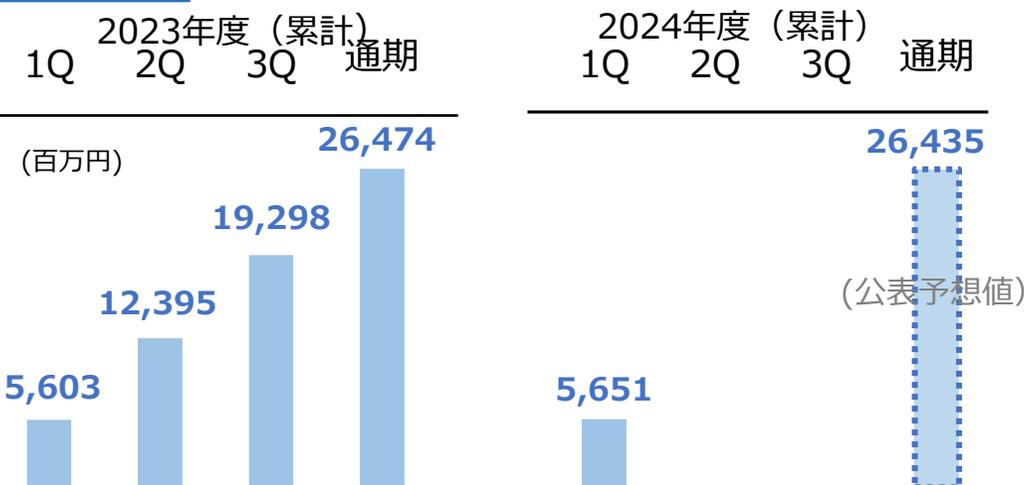


サマリー

公表予想比～セグメント別では好不調はあるものの全体としては順調に進捗

現状では年間の公表予想に変更なし

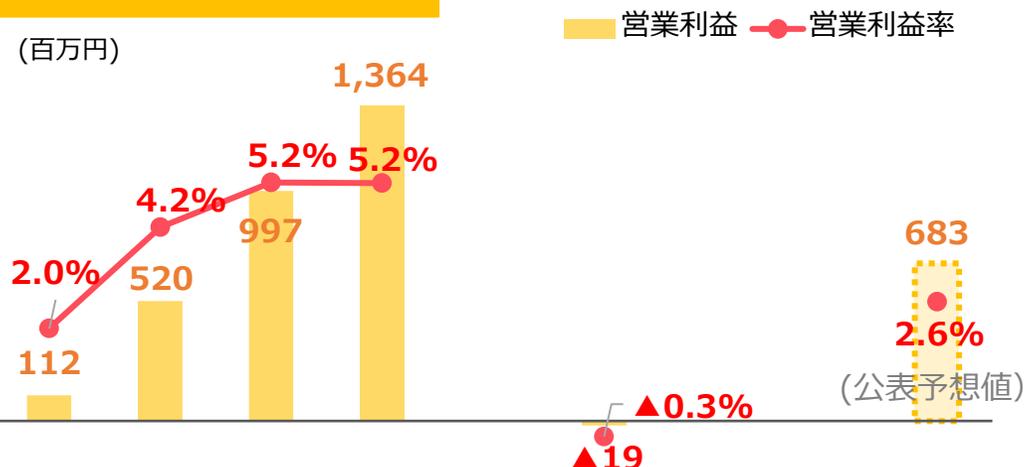
売上高



・売上高

- 公表予想値はほぼ前年度並みの売上高を予想。進捗率では前年同期比遜色ない水準
- 建築用資材の鉄骨工事業・建設コンサルタント事業は想定以上に落ち込んでいるが、今後挽回が可能な範囲
- 建設用資機材については、年度後半に能登半島の復興需要を織り込んでいるも、復興の進捗次第では下振れ懸念もある

営業利益・営業利益率



・営業利益

- 公表予想値は、研究開発強化をはじめとする中期経営計画の施策等による人件費・経費の大幅増等により前期比大幅な減益予想。1Qは営業赤字なるも、前年度の2～4Qの積み上げ額から見れば公表予想値は現時点では十分達成可能
- 今後は、売上総利益の積み上げ状況に加え、中期経営計画の施策の進捗状況がポイント

サマリー

配当金の支払いにより純資産が減少したものの、負債も減少したことにより、D/Eレシオはほぼ変わらず自己資本比率は上昇

(百万円)

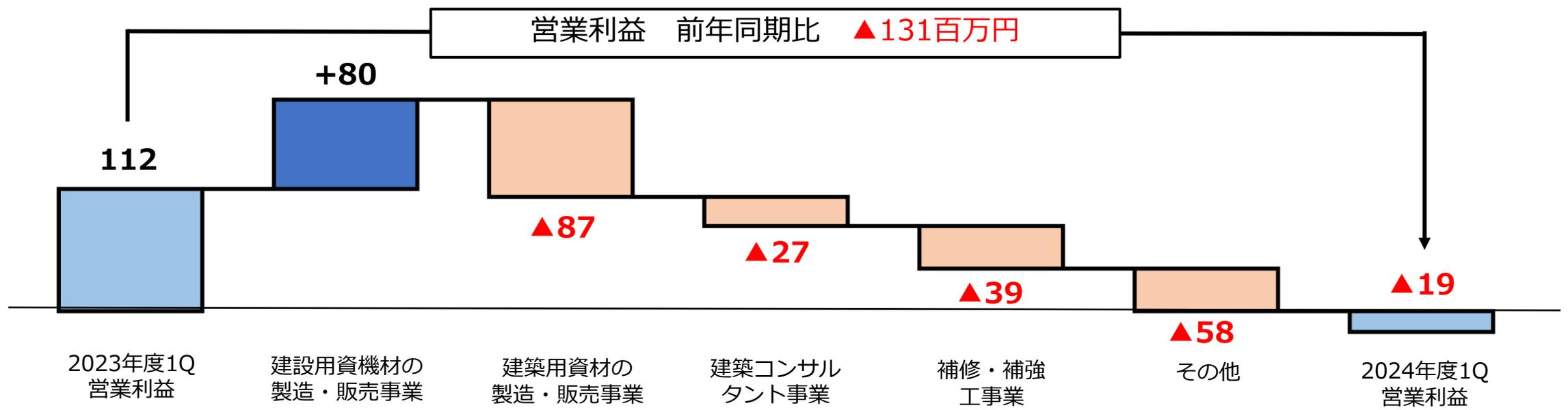
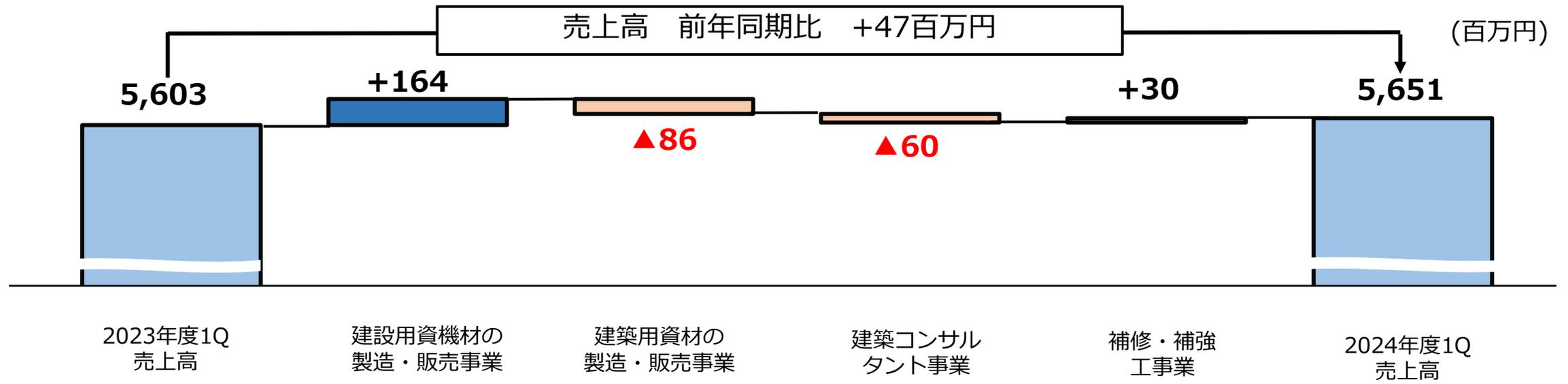
| 資産 | | | 負債 | | |
|--------------|--------------|-----------------------|--------------|--------------|-------------------|
| 2024年 3月末 | 2024年 6月末 | 増減 | 2024年 3月末 | 2024年 6月末 | 増減 |
| 26,432 | 24,917 | (主な内訳) | 15,408 | 14,299 | (主な内訳) |
| | | ▲1,258 受取手形、売掛金及び契約資産 | | | ▲375 支払手形及び買掛金 |
| | | ▲1,088 現金及び預金 | | | ▲296 借入金 |
| | | +648 電子記録債権 | | | ▲259 電子記録債務 |
| | | | | | ▲135 未払法人税等 |
| | | | | | +95 その他流動負債 |
| | | | | | ▲1,108 |
| | | | 純資産 | | |
| | | | 2024年 3月末 | 2024年 6月末 | 増減 |
| | | | 11,024 | 10,617 | (主な内訳) |
| | | | | | ▲392 株主配当金支払い |
| | | | | | ▲33 親会社株主帰属四半期純利益 |
| | | | | | +20 その他有価証券評価差額金 |
| | | ▲1,515 | | | ▲406 |

| | 2024年3月末 | 2024年6月末 | 増減 |
|-------------|----------|----------|-------|
| 運転資本 (百万円) | 5,757 | 5,856 | +99 |
| 有利子負債 (百万円) | 6,074 | 5,771 | ▲302 |
| 純資産 (百万円) | 11,024 | 10,617 | ▲406 |
| 自己資本比率 (%) | 41.6 | 42.5 | +0.9 |
| D/Eレシオ (倍) | 0.55 | 0.55 | ▲0.01 |

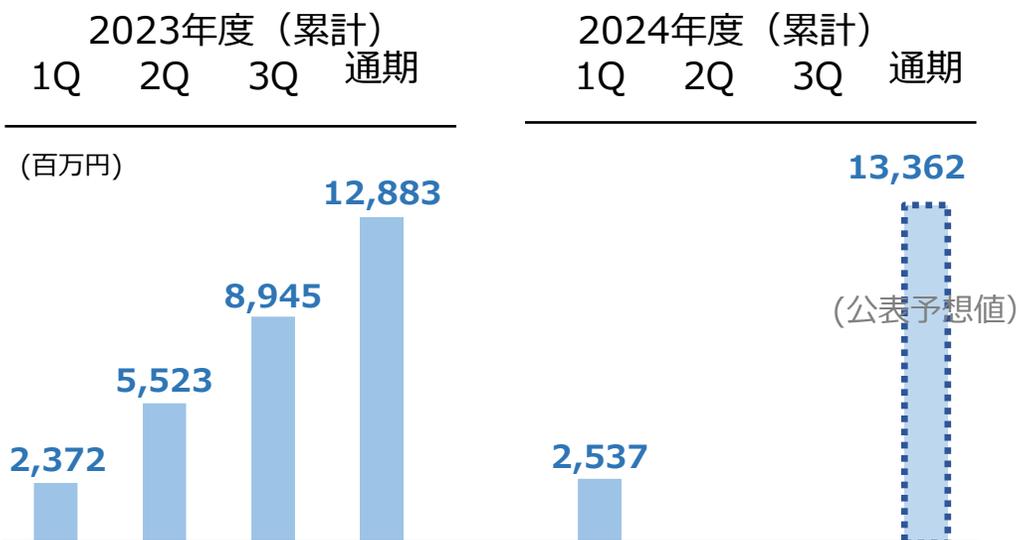
1. 2024年度第1四半期 連結決算実績

2. セグメント別の状況

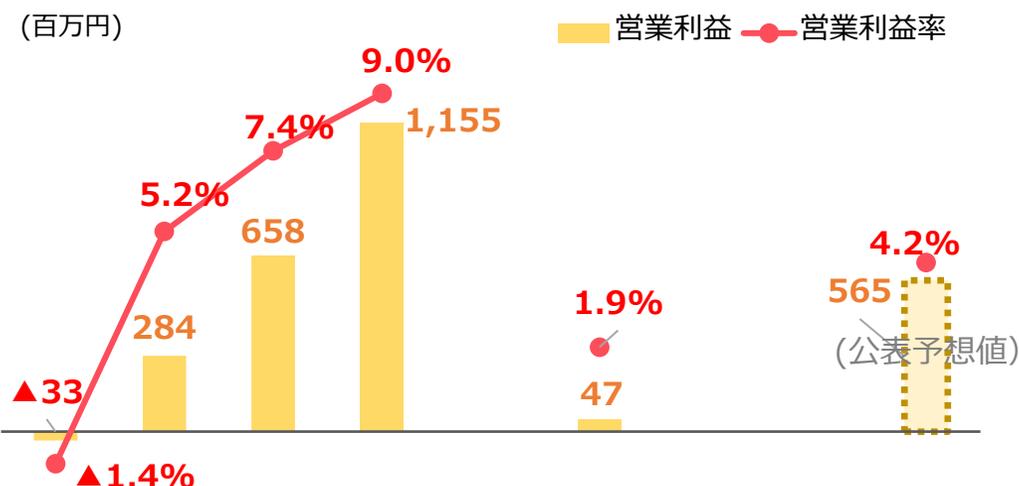
セグメント別増減（前年同期比）



売上高



営業利益・営業利益率



○前年同期比～増収増益

・売上高 (前年同期比+6.9%)

- 高速道路リニューアル関連の橋梁関連のケーブル製品納入や土木耐震金物の案件が好調に進捗
- 顧客への価格転嫁も順調に進捗

・営業利益 (前年同期は33百万円の営業損失)

- 中期経営計画の施策推進による経費増加があったものの、上記増収要因にて黒字化

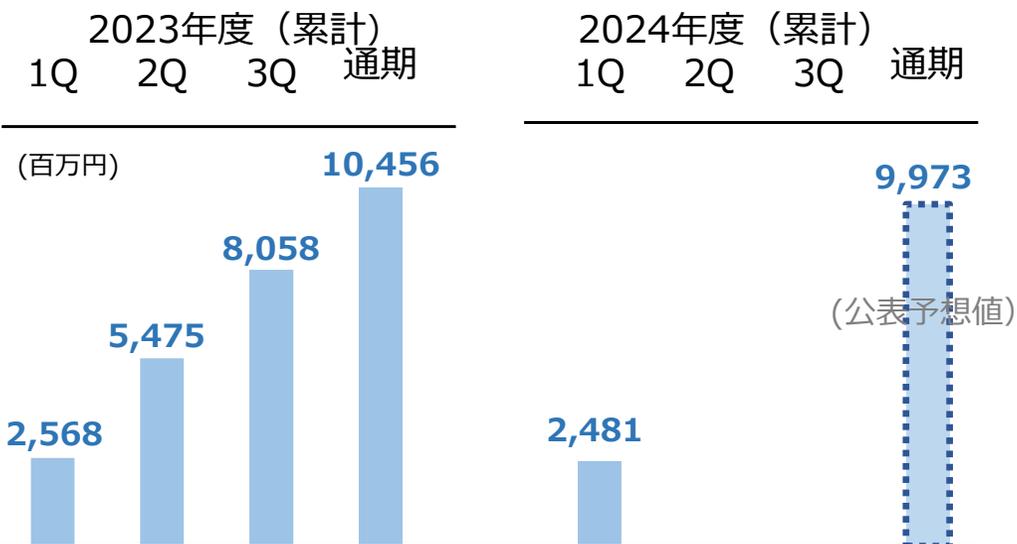
○公表予想値

- 好環境の継続により増収、大型案件の終息及び中計施策の推進強化や販管費の期ずれ等による経費増加があり前年比では大幅減益の公表予想

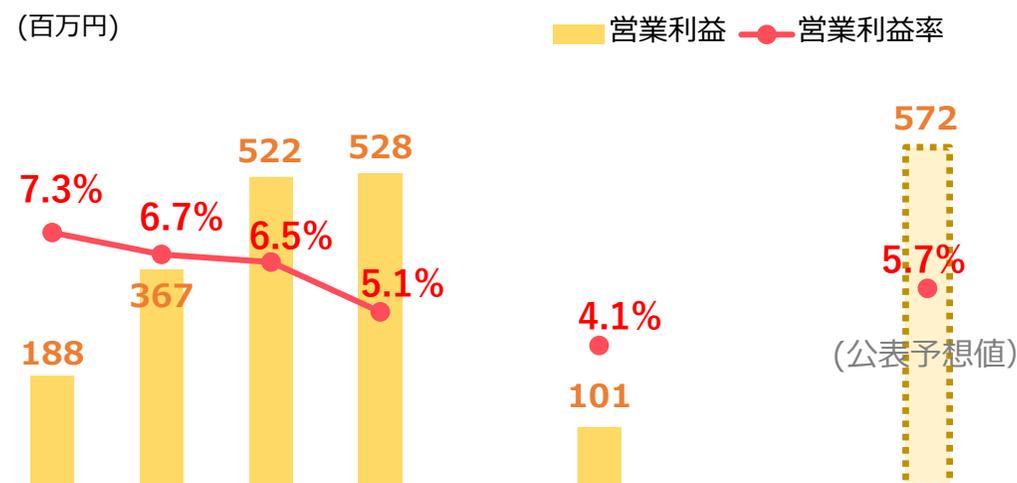
～売上高の進捗・価格転嫁ともに良好な滑り出し

- 下半期予測に織り込んでいる能登半島地震関連の災害復旧工事の進捗が不透明であるなか、下半期に向け案件受注に注力し、引き続き価格転嫁の浸透も継続する

売上高



営業利益・営業利益率



○前年同期比～減収減益

・売上高 (前年同期比▲3.4%)

-建築金物分野は概ね好調。鉄骨工事分野で一部地域における期初受注残が減少し案件消化も大きく減少

・営業利益 (前年同期比▲46.3%)

-建築金物分野では売上高増加のなか材料単価の下落により利益が増加

-鉄骨工事分野では上記要因により利益も大きく減少

○公表予想値

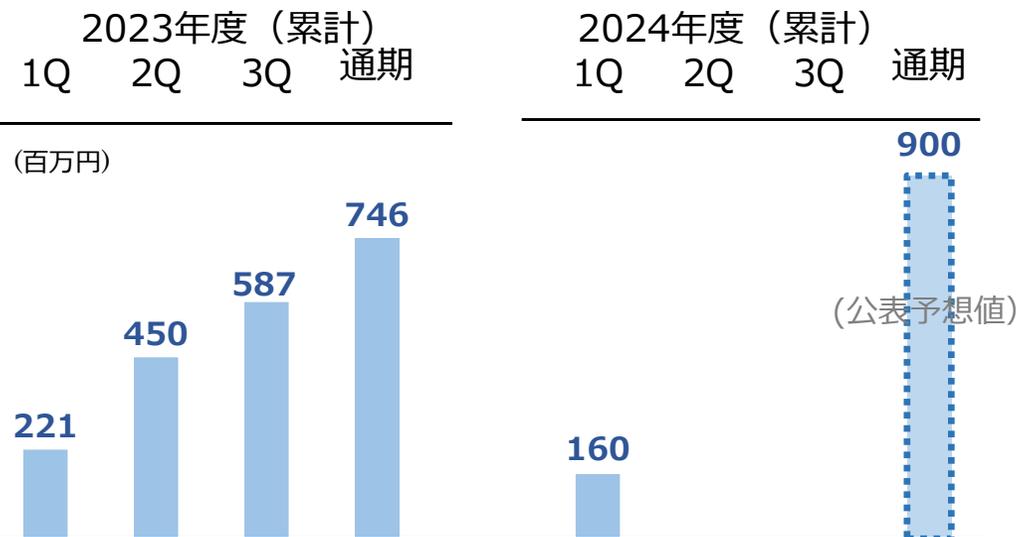
-鉄骨工事分野の案件消化減少により減収を見込むも、価格転嫁や営業の効率化に取り組むことで増益の公表予想

～利益は予測を下回る滑り出し、今後遅れを挽回

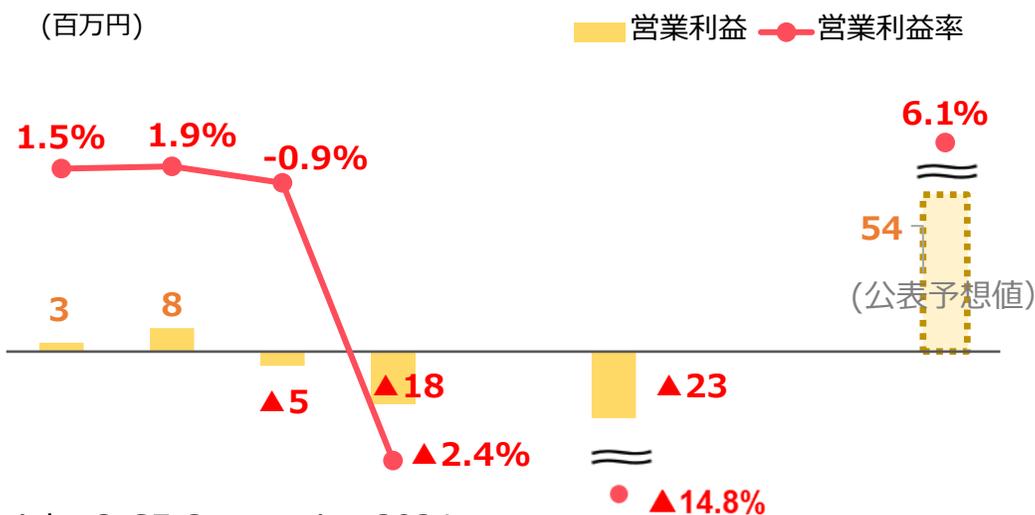
-建築金物分野は予想通り進捗する見込み。価格転嫁の更なる浸透を目指す

-鉄骨工事分野では選別受注を図り利益率向上を図る

売上高



営業利益・営業利益率



○前年同期比～減収減益

・売上高 (前年同期比▲27.3%)

-前年度のJICA案件減少により期初受注残も減少し、1Qの案件消化も減少

・営業利益 (前年同期は3百万円の営業利益)

-上記減収要因による減益

○公表予想値

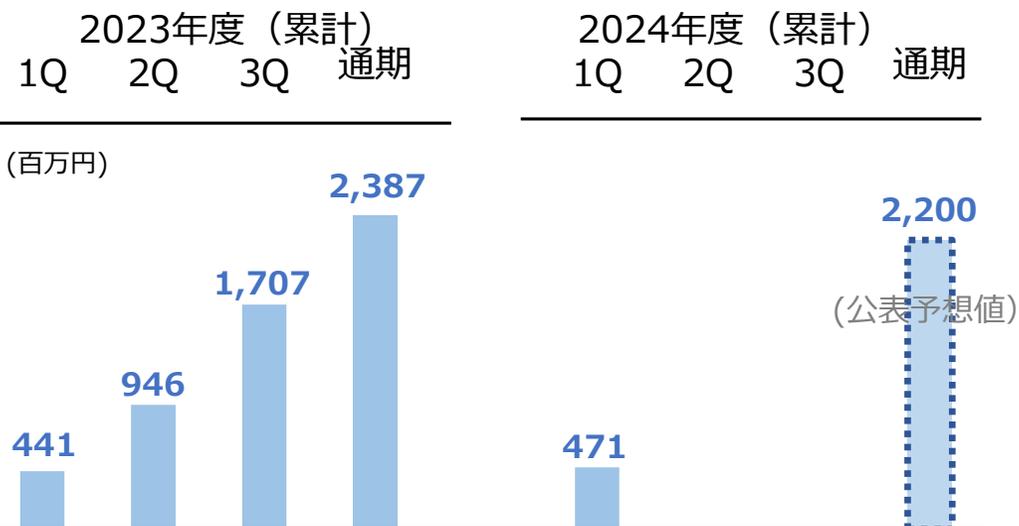
-JICA以外からの案件受注の増加や海外コンサルとの連携にて増収増益の公表予想

～予測を下回る滑り出し、挽回に注力

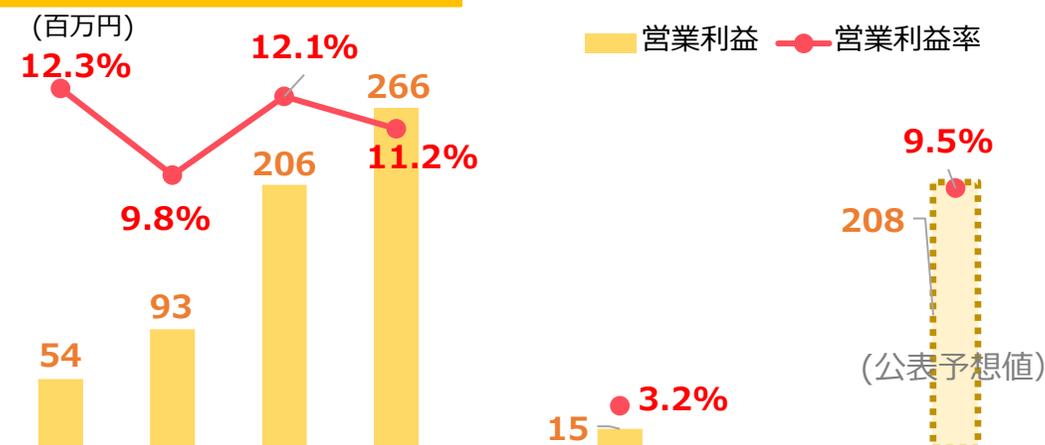
-JICA案件の公示は依然として停滞

-外務省・海外援助機関の関連案件へのプロポーザルを拡充

売上高



営業利益・営業利益率



○前年同期比～増収減益

・売上高 (前年同期比+6.9%)

-国土強靱化等で引き続き好環境

・営業利益 (前年同期比▲72.1%)

-進捗している大型工事の中で追加工事が発生し利益率は低下。他の工事案件で利益率改善を試みるも、カバーできず

○公表予想値

-好環境は継続するものの、前期受注残並びに高利益案件の減少や働き方改革対応等により減収減益の公表予想

～予測を下回る滑り出しも、今後挽回可能

-人員配置の適正化や業務の効率化で達成を見込む

将来見通しに関する記述についての詳細〔ご参考〕

当資料は、あくまで株式会社エスイーをより深く理解していただくためのものであり、当資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではなく、またこれらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている当社の分析、業績見通し、計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、現時点で入手可能な情報に基づく見解や将来の業績に係る見通しであります。これらは現時点で入手可能な情報に基づき株式会社エスイーの経営者が判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの分析・業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。

International Engineering Maker

